

# と お た る け あ



第15号



日本医療機能評価機構認定病院



## 新年にあたり



三愛病院 院長  
千葉 泰二

新年あけましておめでとうございます。

ここ数年、法人理念であります、認知症を含めた高齢者や精神障害者の医療・保健・福祉のトータルケアの充実を目指して展開してきました。

特に認知症高齢者を重点項目として、平成22年10月に認知症疾患医療センターの指定を、同年11月にヘルパーステーションを開設しました。

更に平成23年3月には登別市内に当法人2箇所目となる認知症高齢者グループホーム(2ユニット、18名入所)を、平成24年3月にはグループホームに併設して小規模多機能型居宅介護の開設を予定しております。平成23年は、認知症疾患医療センターが中心となって、一般市民や専門職の皆様に対して、認知症に対する理解が深まるような活動をしていきたいと考えております。

また、精神障害者の地域生活支援として、平成22年4月に地域生活支援室(他医療・福祉機関との地域医療連携業務も含む)を設置しました。長期入院や再入院を繰り返す精神障害者に対して、退院前に精神科訪問看護をおこない生活能力を評価することで、退院後比較的円滑に地域生活支援サービスを継続できることとなりました。就労意欲のある精神障害者には、多機能型事業所(自立訓練、就労継続B、就労移行支援)が中心となって各種事業を継続しておりますが、平成23年は更に一般就労に結びつくような実績づくりが出来ればと考えております。

平成24年4月には、診療報酬と介護報酬の同時改正が予定されており、今後の精神科病院や介護保険サービスの方向性がある程度提示されるかと思われますので、「当法人が、今後地域でどうあるべきか」を改めて検討していきたいと思っております。

今年もよろしくお願いいたします。



特定・特別医療法人  
社 団 千 寿 会 三 愛 病 院

〒059-0493  
北海道登別市中登別町24番地12  
TEL (0143) 83-1111  
FAX (0143) 83-1361

### <直通TEL>

歯科口腔外科 (0143) 83-3991  
医療福祉相談室 (0143) 83-3207  
地域生活支援室 (0143) 83-3572  
デイケアさあく (0143) 83-2520

### <URL>

<http://www.sanai-hospital.or.jp>

### <E-mail>

[post@sanai-hospital.or.jp](mailto:post@sanai-hospital.or.jp)

### <診療科目>

精神科・老年精神科・内科  
老年内科・心療内科・消化器内科  
皮膚科・リハビリテーション科  
歯科口腔外科・歯科

### <診療時間>

平日 午前9時 ~ 12時  
午後1時 ~ 5時  
土曜日 午前9時 ~ 12時



作成: 三愛病院 広報委員会

## 「開院45周年記念祝賀懇親会開催」

祝賀懇親会実行責任者 宮崎 聖

平成22年11月6日(土) 登別グランドホテルに於いて、開院45周年の祝賀懇親会を開催することが出来ました。

法人の大きな節目となる40周年と50周年の中間として今回は職員を中心とし、特に親交の深いお客様を加え、将来の千寿会を支えていくスタッフの団結力をより高めることを目的として開催されました。理事長・院長の挨拶に始まり来賓の皆様方からも大変あたたかい祝辞を賜り、改めて45周年の重みを感じました。法人の歴史を振り返りながら将来に向かっての意気込み等を、病院職員並びに各併施設代表者によりテーブルスピーチにて繋いでいきました。普段、聞くことができない他部門や施設の考え方を知るにはとてもよい機会であったと思います。また、大変和やかな雰囲気の中、素晴らしい食事と仲間との会話により横の繋がりも、より強いものになったと確信しております。この度の祝賀懇親会の開催にあたり御協力頂きましたスタッフ並びに企画自体を提案された理事長、院長には心より感謝いたします。



医療法人社団千寿会 三愛病院  
創立45周年記念祝賀

## TOPICS



### 病院理念

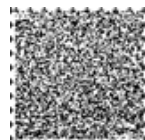
- 1.精神障害者と高齢者を対象に、医療・保健・福祉のトータルケアを目指します。
- 1.自然環境との調和を大切に「癒される」病院創りを目指します。
- 1.チーム医療により良質な医療と地域に開かれた機能的病院を目指します。
- 1.常に謙虚に患者様と御家族の気持ちを尊重し、心のこもった医療の提供を目指します。

### 基本方針

当病院は自然環境を生かし、アメニティの充実を図ると共に、精神科ではチーム医療における質の高い医療を追求しています。  
法人グループの各施設がそれぞれの役割を担い、医療・保健・福祉における連携と人権を尊重し、患者様並びに御家族との相互理解を深め、地域のニーズに合った信頼される医療の提供をいたします。

### 患者の権利

- 一人の人間としての尊厳を尊重され、丁寧に敬意をもって扱われる権利を有する。
- 差別されることなく、公平かつ適切で良質な医療を継続して受けられる権利を有する。
- 医療に関する個人情報保護されるとともに、私的なことに干渉されない権利を有する。
- 自己に関する医療行為や医療情報に関して十分な説明を受けることができ、その上で、治療方法に関して選択できる権利を有する。
- 医療費、公的援助に関する情報や説明を受けることができる権利を有する。
- 健康や病状、保健サービスなどについて教育を受ける権利を有する。
- 医療の充実・改善をはかるために、苦情や意見を申し立てることができる権利を有する。



## 新たな医師が着任しました。

三愛病院 精神科・内科医師 菅原 正弘

はじめまして。昨年11月1日より当院に勤務している菅原正弘です。  
私の履歴を披露して務めとさせていただきます。

生年月日 昭和12年2月27日

高等学校 新得高校屈足分校

出身大学 金沢大学医学部

職歴 昭和43年4月より、昭和57年10月まで北海道大学附属病院第1外科にて研修し、この間、釧路労災病院外科、旭川厚生病院外科、三笠市立病院外科などに勤務しました。昭和57年10月に菅原外科医院を開設し、平成10年に閉院しました。その後はさまざまな病院を経て、平成21年12月、亀田北病院に内科医として勤務。平成23年11月1日より三愛病院に勤務しています。

当院で行っている治療に、多少なりともお役に立てればと思うところです。よろしくお願い致します。



## 千寿会の新たな事業所をご紹介します。

### 「高齢者グループホームみずばしょう開設にあたり」

高齢者グループホーム 総合施設長 高嶋 活哉

当法人は三愛病院を中心に介護保険の分野として、介護老人保健施設、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、高齢者グループホームを運営しております。

平成17年に高齢者グループホームプラタナス三愛が中登別町に開設し6年を迎えようとしています。その中、認知症をかかえる人は年々増加し、入居を待っておられる方も増えており、地域のニーズも高いと感じています。

これまでの経験を活かすと共に、認知症の人を地域と一緒に支える仕組みの必要性を話し合い、この度3月に登別東町に2棟目のグループホームを開設する事となりました。プラタナス三愛の2ユニットを含め、合計4ユニット(定員36名)となります。

また、昨年22年10月には三愛病院、恵愛病院、伊達赤十字病院との連携による、認知症疾患医療センターの認可を受けております。認知症疾患医療センターを中核として、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、また、いつまでも自分らしく生きる、ことを支えていきたいと思っております。

地域の方々に愛される事業所を目指しスタッフ一同頑張ります。



### 「ヘルパーステーションあおい(愛桜)を開設して」

ヘルパーステーションあおい(愛桜) 管理者 金田 亜季

多くの皆様のご協力とご期待を受け、平成22年11月1日にヘルパーステーションあおい(愛桜)を開設することが出来ました。ご支援に感謝するとともに、地域に必要とされる事務所にならなくてはいけないという使命と責任を感じております。

平成12年に介護保険制度が施行され、在宅サービスの質・量ともに大きく成長しました。しかしながら、未だにご本人の負担、ご家族の介護負担が見られています。個々の日常生活、人としての生き方、家庭環境等が複雑に絡み合っている中で、利用者とそのご家族がより良い生活を営む事が出来るような支援を心掛けております。利用する方々が安心して、生まれた街、生活していた家で過ごす事が出来るよう、安全なサービスを提供していきたいと考えております。

決められた制度の中で、限りあるサービスではありますが、真心を持って訪問看護に取り組み、多くの方々の笑顔につながるよう、職員一同尽力して参ります。



## 認知症疾患医療センター開設

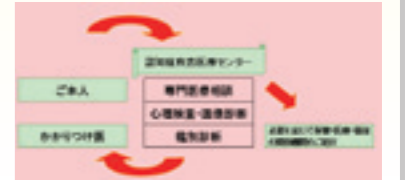
三愛病院 認知症疾患医療センター 専従精神保健福祉士 田中 剛史

「もの忘れ」の場合、原因が何であるかをきちんと知っておく必要があり、それによって不安をなくし、今後の生活上の注意点などについて知識を得たり出来ます。当院は平成20年5月より「もの忘れ外来」を開設し、患者様の症状や検査を総合して、「もの忘れ」が、病気によるものか、加齢により起きた正常のことなのか、気持ちの落ち込みやお身体の病気に伴う「もの忘れ」なのかを診断し、その後のご本人様のケアや連携に務めておりました。

それらの実績に伴い、この度、西胆振圏域におきまして平成22年10月22日付にて西胆振3つの病院の連携の仕組みにおいて、北海道より道内3番目となる指定を受けました。

当センターは保健医療・介護機関等と連携をし、認知症の早期発見や重度化を予防する目的で、専門医療相談を受け、各種心理検査や画像診断等を行い鑑別診断を致します。また周辺症状及び身体合併症に対する急性期治療を実施するとともに、地域保健医療、介護関係者の方々と西胆振認知症疾患医療連携協議会や研修等を共に開催することにより、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的としております。

平成23年2月より開催される、西胆振認知症疾患医療連携協議会会長の千葉院長総指揮のもと、今後も更なる認知症疾患の専門医療と地域連携体制強化への橋渡し役を担う拠点として取り組んで参りますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 職員研修

### 第2回 院内研究会を終えて

三愛病院 栄養課課長 管理栄養士 安達 輝重

10月1日に開催されました院内研究会にて、NST委員会より『褥瘡悪化防止に向けて経鼻経管栄養の半固形化栄養を導入した1例』について報告致しました。

日々の活動の中で「患者様のために何か出きる事はないのか」が原点となりチームで患者ケアの改善に向け新しい試みをまとめたものであり、委員会活動の成果と、少しでも院内の職員へ情報提供及び共有し、新しい提案として委員会を通して広めることができたと発表いたしました結果が最優秀賞を頂き、今まで委員会活動に多くの協力を頂いている多職種の委員職員「皆様の協力あってこそ」と感謝の気持ちで一杯です!

思いもかけないご褒美(金一封で美味しいもの頂きましたありがとうございました。)に委員会にて楽しい時間を過ごしながら、今の問題点など話し合う時間となり、新たな活動への活力となりました。今後もより良い活動につなげていけるようご協力願います。



### 第38回 精神医学会に参加して

三愛病院 看護部 南2階病棟看護師 上坂 直樹

今回、「身体拘束解除に向けた看護実践」を演題に発表者として参加させて頂きました。全国から約1,500人が参加され、自身の貴重な発表体験と共に、全国規模の他院の研究発表が聴けたことは、当院で看護展開するうえで大きなヒントとなります。また、当院のみならず全国各地の病院で同じような問題へ取り組んでいる事を知り、今後当院においても難題に取り組んで行く勇気を頂きました。



このような取り組みの成果を外部に発信する事は、知識の共有化による看護ケアの質の向上と、看護学の確立と発展に大きな意義を持ち、そこに参加できた事に誇りを感じました。このような大きな研修には誰もが参加できる訳ではありません。自分が参加させて頂いた事は単に自分の為だけではなく、この貴重な体験を参加できなかった多くのスタッフに伝える事にも大きな意義を持つと感じております。今回、貴重な研修に参加させて頂き心から感謝致しております。この経験から得たものは、今後必ず当院と自己の発展につなげて行く考えでおります。ありがとうございました。